

# Narashino International Association



## NIA SQUARE ファウエア

第47号

1999年9月1日

〈編集〉

習志野市国際交流協会

Special Report  
Front Line  
What's New

最新・谷津干潟の国際交流  
田久保裕一・音楽で世界  
N.I.A.のアピール・市民まつり  
タスカルーサから教育代表団

Dream  
N.I.A. Youth  
Who's Who  
Information

太平洋を超えた車いす  
外国のお菓子づくり  
こんにちは・コ・ン・ニ・チ・ハ  
ザ・英文クロスワードほか

### ＜特集＞最新・谷津干潟の国際交流…井浦 宏司（習志野市立谷津干潟自然観察センター）

#### 第7回ラムサール条約締約国会議報告

5月10日から18日まで、中米コスタリカの首都サンホセで、第7回のラムサール条約締約国会議が開催され、習志野市からこの会議に、大野環境部長と筆者の2名が参加し、谷津干潟の市民参加と湿地交流の事例を紹介し、PRしてきましたので、紙面をお借りしてその報告をさせていただきます。

本題にはいる前に、サンホセについて少し書きます。成田からの直行便はありませんので、アメリカ本土で乗り換えになります。また、乗り換え便も途中のグアテマラに立ち寄りますので、成田を発ってからサンホセまで15～6時間飛行機の中ということになります。乗り換え機の搭乗手続きの際に、スペイン語で話しかけられたこともあってか、海外旅行の経験の乏しい筆者には、ずいぶんと遠い国へ来てしまったという印象でした。行程は4泊6日だったのですが、サンホセに滞在したのは、実質2日間でした。サンホセの位置は、北緯10度付近なので熱帯地域ですが、高地にある街なので、朝夕はとても涼しく、また、雨季ということで、2日間とも午後3時を過ぎると青空が一転して曇り、熱帯

特有のスコールがやってきましたが、暗くなる頃には満天の星空が望めました。

締約国会議は、ラムサール条約の加盟国が3年に1度集って、湿地の保全についての様々な取組を協議するものです。期間中テーマ別に会議がもたれ、そのうち習志野市が参加した会議は2つでした。

ひとつは、「湿地の賢明利用にかかる地域住民のかか

わり」をテーマにした会議で、「湿地保全への住民参加の確立及び強化のためのガイドライン」を検討する場でした。これは湿地保全にあたっては、地域住民（=市民）の理解と参加協力が不可欠であることから、そのかかりかたの指針として、ガイドラインを示そうというものです。ガイドライン作成のための資料として、世界中から23



●コスタリカにて

の先進事例が選ばれ、この中のひとつに谷津干潟の市民参加の取組があげられました。加えて、1995年に谷津干潟自然観察センターで開催された国際シンポジウムで採択された「習志野宣言」（湿地保全について市民参加の必要性を唱えたもの）もあげられていました。

2つめの会議は、「アジア太平洋地域渡り性水鳥ネットワークレセプション」への参加です。

お願い!!トルコ地震被害者に対する義援金を募っております。ご協力ください。（事務局）

## ブリズベン湿地交流記

谷津干潟自然観察センター ボランティア 阿久津 齊

今年1月ブリズベン市を訪問し、市当局や湿地の保全をしている多くの方々とお友達になってきました。

習志野市とオーストラリアの東岸部にあるブリズベン市は1998年2月に湿地提携をしました。習志野市には谷津干潟がブリズベン市にはブーンダル湿地など多くの湿地が有り、両湿地ともラムサール条約と東アジア・オーストラリア地域シギ・チドリ類湿地保全ネットワークに加入しています。このようないい縁から湿地の保全と渡り鳥の保護を協力して行うために湿地提携をしました。これを具体化するため、1999年から始まる5ヶ年で、市民参加と行政の支援により、5つの分野で交流を進めようとしています。一番大きな柱は市民交流です。今回私たちの谷津干潟自然観察センターのボランティア一行10名はその市民交流団としてブリズベンを訪問しました。

私たちの訪問の目的は 1) ボランティア各自の視野の拡大 2) ボランティア活動の質的向上 3) ボランティア活動の活性化ですが、ボランティアという立場で、普通の観光旅行とは一味ちがった特色ある旅行を目指しました。基本的なスタンスとして 1) 相手にとって役に立つこと、よかったです感謝されることをブリズベンの湿地等で行うこと。このためBird Curving ClassとBush Rehabilitation Workを行いました。2) 湿地観察、施設見学を共通の第一の目的にするも、各自がそれ以外の個人目標も設定して訪問で成果をうること。これはBird WatchingやTree Watchingなどを行いました。

3) 今後を考え、多くの人たちと親しくなる。これは旅行の全体を通して各自が心得ました。

現地では市当局と市民の方々に大歓迎を受けました。訪問前のスケジュールの詰めがお互いに良かったからだと思いますが、事前準備を大変よくしてくれており、スムーズに事が進みました。

Bird Curving Classはブーンダル湿地にある環境教育センターで行い、子どもを含めて17人が集りました。材料と道具はこちらから持っていき、チドリのプローチを1日かけて作ったのですが、皆初めての経験でたいへん喜んでもらいました。Curvingという趣味の世界はブリズベンにはないようです。得意そうに自分の作ったプローチを胸につけて帰りました。「今度は旅費を出すぐらまた来てほしい。Whole Styleを作りたい」と言われており、どうしたもんか思案中です。

Bush Rehabilitation Workはブーンダル湿地の一角で、ここ環境管理官の指導のもとに行いました。作業

この会議でのトピックスは第1に「東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク」が発足したことです。これは3年前のブリズベンにおける第6回締約国会議でのアジア太平洋地域渡り鳥保全戦略に基づき、「ツル」「シギ・チドリ」「ガンカモ」の3つのネットワークを構築していくという方針によるものです。このうち「ツル」と「シギ・チドリ」については既にネットワークがあり、今回残っていた「ガンカモ」のネットワークが立ち上がり、保全作業が進められることになります。

谷津干潟はこのうち「シギ・チドリネットワーク」に96年に既に参加しておりホームページによる情報発信や、湿地交流事業などに取り組んでいます。

トピックスの第2はラムサール条約及びネットワーク参加地の事例報告があり、習志野市は、市民参加やブリズベン市との湿地提携といった谷津干潟における取組を、アメリカ、オーストラリアを含めたアジア太平洋地域からの会議参加者200名を前に発表しました。

ついで、会議全般についてですが、今回の会議では少なくとも、140カ国の中でも、140カ国の政府代表、関係国際機関、NGO、科学者などが参加し、34の決議及び勧告が採択されました。中で注目されるのは、第1に湿地登録の基準が拡大され、2005年までにラムサール条約登録地を現在の約2倍の2000箇所に増やそうという目的が設定されたこと。これにより必ずしも水鳥の生息地でなくとも、水源として重要な湿地等は登録可能になります。

第2に潮間帯湿地（主に干潟）の重要性が改めて認識され、この保全について取り組む決議がなされました。日本には11カ所の登録湿地がありますが、干潟は今回登録された沖縄県の漫湖と谷津干潟の2つだけです。この決議で各國には、干潟の保存状況の目録を作成することが求められています。これらの決議・勧告文の日本語訳は観察センターの図書コーナーでお読みいただけるようになっていますのでご利用下さい。

また、先にも触れたとおり、今回の会議で、「湿地保全への住民参加の確立及び強化のためのガイドライン」作成にあたって、参考とされた23の世界中の先進事例の中に、谷津干潟の取組がありました。これは、谷津干潟の取組が世界的にも注目されていることに他なりません。谷津干潟は、多くの人々の願いと努力により現在の姿があります。保護運動に関わってきた方、研究者、野鳥愛好家、一般市民の方々など、谷津干潟の保全に取り組んできたすべての皆さんのが成果です。さらに多くの方々が取組の輪に参加していただける様努力してまいりますので、ご参加・ご協力をお願いします。

用の長靴と手袋を現地で用意してくれました。湿地に陸地の植物が入り込んで来ます。それを抜く作業ですが、根が大きくかたく這っているため、ツルハシ（いまどきツルハシといつてもわからない人が多いかも）で掘って引っこ抜きます。中高年集団には、30度の炎天下できつい作業でしたが、やりはじめると結構面白く、休憩の呼びかけにも応じず、もう少しもう少しと作業を続けました。

カヌーによる川くだりは、ブーンダル湿地に流れる川をカヌーでくだります。3人乗りで市民のレクリエーションのコースになっています。その間1kmぐらいでしょうか。2本の川を乗り継ぐため、途中3人で自分のボートを担いで100mぐらい離れた隣の川に移動します。川から見るマングローブは湿地の生物をまじかに見ることが出来ます。川と湿地のさかい目にボートを近づけるとシオマネキ（Fiddler Crab）が沢山います。向こうもあまり警戒しておらず、穴に逃げられることもなく、1mぐらいのところまで接近出来ます。マングローブの林を飛び抜けるナンヨウショウビン（Collared Kingfisher）、木のこずえに止まるミサゴ（Osprey）、暗い所にじっとしているササゴイ（Mangrove Heron）など鳥は豊富です。ボートはShorncliffeという河口に来て上陸ですが、この河口干潟にも日本に来る渡り鳥のシ

ギ・チドリを始めとして、コシグロペリカン（Australian Pelican）ギンカモメ（Silver Gull）、クロトキ（Australian White Ibis）、オオアザラシ（Crested Turn）などが沢山いました。Bird Watchingが趣味の私はこたえられない時間でした。

今回の訪問で一番はじめというか正式な交流機会としてプリズベン市庁舎で双方のプレゼンテーションがありました。プリズベン側からはMorton Bayの保全、カエルの調査・研究、プリズベン地域の川の流域管理などの話がありました。わたしからは東京湾の最近50年間の干潟の減少の話をして、谷津干潟と観察センター・ボランティア活動の2本のビデオ（英語版）を見てもらいました。

今回の訪問は今後のため、いかに多くのプリズベン人たちと顔つなぎが出来るかがキーポイントでしたが、結果は大成功でした。助役をはじめとする市当局や、保全活動をしているCommunity Peopleの方々の両方合わせて35名の方と親しくなりました。また、長期滞在のホームステイの可能性を調べるのも、ひそかな個人の裏目的でしたが、4軒で出来そうです。

N.I.A.の方々は会話に不自由しませんので、もっと広くて深い交流が出来ることでしょう。この習志野市が始めた湿地交流のパイプを太くするため、プリズベンとの交流を検討してみてはいかがでしょうか。



●ブーンダル湿地で雑草取りの筆者



●クロトキとギンカモメ

湿地交流のお問い合わせは「谷津干潟自然観察センター」 047-454-8416

またはFAX 047-452-2494

ホームページ <http://www.city.narashino.chiba.jp/~yatsu-tf/>へどうぞ。

習志野市秋津に在住の田久保裕一氏は、東欧を中心として世界を舞台に活躍する指揮者である。今年4月にはルーマニアのブラショフ市で国立「ヨルジュ・ディマ」フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会に出演、5月にはカザフスタンの旧首都アルマイト市から招待され、市を挙げてのフェスティバルで市立オーケストラを指揮するなど、まさに東奔西走の日々を送っている。

田久保氏は東京学芸大学音楽科を卒業し、1980年から12年間、習志野市の七中と谷津小で音楽教師として勤めるかたわら、数多くのアマチュアオーケストラを指揮してきた。1992年に退職、プロの指揮者に転向した。欧洲に渡ってスイス、ウィーンで著名な教授に師事し、最優秀者に与えられるマスタークラス終了演奏会に出演。1993年8月にはウィーン・レジデンツ・オーケストラを指揮し、ウィーン・デビューを果たした。

教員という職業を辞めて、指揮者となる決意をしたのはどうしてなのだろうか。

「高校時代から指揮者になりたいという夢は持っていました。もちろん、教師も志願してなったわけですが、転機となったのは母の死でした。私が30歳の時、母は57歳で脳溢血で亡くなりました。それまでは60歳の定年まで教員生活をまとうとして、それから指揮者に専念するつもりでした。しかし、人生のはかなさを感じて数年間、教員生活と指揮者との狭間で悩んだ結果、指揮者として独立する決心をしました」

安定した地位を捨て、ヨットで嵐の大海上に飛び出すような決断を下したわけだ。田久保氏が35歳の時である。当時、妻と二人の子供を抱えていた。プロの指揮者は保証もなければ、資格や免許もない実力本位の世界だ。田久保氏は欧洲に赴いてレッスンを受け、小沢征爾氏をはじめ著名な指揮者の演奏を聴くなど自己鍛磨に努めた。



●ウィーン国立歌劇場で小沢征爾氏と



●聴衆を魅了する田久保氏の指揮

#### ◆ルーマニアで日本人初のグランプリ

1994年11月には、ルーマニアのブラショフ市で開催された国際指導者コンクールでグランプリを受賞、日本人で初めて優勝に輝いた。国立フィルハーモニー交響楽団をたびたび指揮し、演奏はテレビ、ラジオを通じてルーマニア全土に放映された。それ以来、ルーマニア室内管弦楽団をルーマニアで指揮とともに、同楽団を率いて来日公演するなど、ルーマニアと日本の文化交流を推進してきた。

ルーマニアは、日本人にとっては馴染みの薄い国である。オリンピックの体操競技でコマネチなど女子選手の華麗な演技に魅了された人は多いだろう。だが、それ以外の知識を持っている人は稀である。1980年代後半からソ連を中心とした共産主義体制が崩壊し始め、東欧を中心に民主主義、資本主義を志向する動きが顕著となってきた。ルーマニアでも10年前、独裁者だったチャウシェスクが暗殺され、共産主義体制が打倒された。果たして、ルーマニアはどんな国になっているのか。

「私がグランプリを頂いた1994年当時は、全体的に暗い印象がありました。しかし、チャウシェスク政権が倒れて10年になりますが、モノも増え、街も明るくなり、子供たちの表情も明るくなってきたようです。産業はそれほど発展していませんが、農業中心の自給自足の生活が根付いているためか、野菜や肉は豊富にあります。決して裕福ではありませんが、貧しさは感じませんね」

西側の情報も電波を通じて入るそうだ。ギリシャ、イタリア、ドイツなど近隣諸国のテレビ番組は放映され、CNNも映る。田久保氏が滞在中、ユーゴスラビアに対するNATOの空爆のニュースが毎日トップで報道されていた、という。近隣国で直接、被害があったわけではないが、難民が流入したためであろう。



●ルーマニアで公演

### ◆日本人にはないスケールの大きさ

ルーマニア人はラテン系の民族で、「ロマーニア」という言葉は「ローマの里」を意味する。そのため、言語はラテン語に近く、ほとんどのルーマニア人がイタリア語を話せるそうだ。ただ、文化的にはオーストリア・ハンガリー圏に属し、人種的にはロシア系も混じっている複雑な歴史的背景がある。

田久保氏が今年5月に訪れた中央アジアのカザフスタンの場合、ロシア系、トルコ系、モンゴル系など百以上の民族で構成されている。まさに人種の坩堝だ。中国に隣接し、面積は日本の約7倍という広大な国土である。

「私と身近に接した通訳や教育委員会の人は、黙っていれば日本人と言ってもわからないぐらいでした。カザフスタンで感心したのは、若い人たちが愛国心を素直に表現していることでした。『お客様が幸運を運んでくれる』という諺があるそうですが、日本で就職が決まった若者が自分の力で勝ち取ったにも関わらず、諺を引用しながら『田久保さんが運を運んでくれたのです』と語っていました。海外に行くと、考え方のスケールが大きいと感じることが多く、日本人の生き方についても反省させられます」

そう語る田久保氏も、人間の幅が広い稀有な日本人である。指揮者としてデビューして7年、国内では新星日本交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、京都市交響楽団をはじめ、数多くの主要オーケストラを指揮してきた。全国のアマチュア

オーケストラや合唱団の育成にも尽力。教職員を対象に講師を務める機会も多く、国内外を駆け巡っている。



●カザフスタンのオーケストラのメンバーと

### ◆指揮者は人間性、人とのつながりを大切に

「指揮者は音楽を表現するのが仕事ですが、人間との関わりが一番大切だと思います。交差点で私が交通整理をしていると仮定します。すると、いろいろな人たちが通過していくますが、私を通じて新しい出会い、結びつきが生まれてゆく。演奏活動以外で人と付き合う機会が増えていますが、それが最も大切な財産ですね」

田久保氏は1998年1月から友の会だよりとして「TAK通信」を年4回発行、演奏活動のお知らせや随想などを綴った季刊誌を会員に無料で送付している。TAK（タック）は小学校時代からのニックネームで、デンマーク語では「ありがとう」を意味する。プロの指揮者でファンに対するレターを直接、郵送している例は稀である。それだけ、人とのつながりを重視しているのであろう。会員は800名を越えて現在、1000名に近づいている、という。

谷津干潟をテーマとして、ふちさわまさき氏が作詞した「翼に愛を」の作曲も、田久保氏が手掛けた。谷津干潟自然観察センターの閉館時に流れる音楽として有名で、谷津南小学校では愛唱歌となっている。そのほか、対人地雷をなくす天満敦子ヴァイオリン・チャリティ・コンサートの指揮者を務めたり、視聴覚障害者向けの公演に加わるなど、その活動分野は幅広い。

「聴覚が不自由な方でも、風船の振動で音楽が分かることです。お年寄りや身体の不自由な方々の立場に立ってみると、バリアフリーのまちづくりを推進する必要があると思います。」

大衆の中に飛び込んで、その喜怒哀樂を感じ取り、自らの芸術活動の源泉とする。そんな田久保氏の生き方に共鳴する人は数多いだろう。



●カザフスタンで民族衣装を着て

わたしとうきょうとみんならしのしもん私は東京都民から習志野市民になって30年、社会へ出てから40年、右肩上がりの日本と一緒にひたすら駆け抜けました。駆け抜けながらも、街が移り変わり、子供たちが成長し、街路の並木が植木から巨木に成長していくのを見てきました。習志野市を自分の住み続けていく街として選択したことの正しさに自信はありました。しかし、その自信を確かめたかったことも事実です。N.I.A.の会員となり、役員に選任されて最初の仕事が、「市民まつり」でした。

1. (最初の集まり) 6月19日に行われました。数名の理事他交流事業に登録されたボランティア会員の方々11名が参加して次の提案がなされ、方向が決まりました。

A. カントリー・ミュージック・ショウ (ステージ)

B. クッキー販売

C. 外国人による語学研修アワーの開催

D. 民族衣装の着用

E. 会員募集活動

F. ユニセフ募金

2. (2回目の集まり) 7月10日に行われました。計11名が出席し、前回の内容を一部修正して実行計画を決定しました。(1時間30分)

A. バンドの名称「チップス・アンド・ソース」

B. クッキー・サービスは事業部内で行う。(150セット)

3. タスカルーサ市にメッセージを依頼する。

4. (準備作業)

A. カントリーのステージは事務局が手配しました。

B. クッキー作成は青年部と婦人の方々で行われました。(前回、7月31日の午後3時間、谷津コミュニティセンター調理室にて)「アラバマ・クッキー」(Oat-meal cookies)は青少年事業部会主催でダーレン・イトウさんに指導していただいたクッキー教室で覚えたものです。「助かるーさ・クッキー」は日本さんの資料をもとに作ったものです。名前は、我が姉妹都市「タスカルーサ」とその州「アラバマ」に由来したものです。数度来日されたアラバマ大のマリリン・エンブライ恩さんにE-mailで知らせたところ "I wish I could be there to have one, yum, yum...自分も食べたい、ヨダレが出そうよ" とのことでした。(因に、谷津コミュニティセンターの調理室は素晴らしいものです。)

C. 語学研修アワーの講師手配と依頼は、N.I.A.の日本語教室に来られている外国人会員を中心に事務局とほかの方々から話していただきました。後に記しますが、これほどの数の講師と言語を扱うことが出来るのは、N.I.A.しかありません。



●語学研修アワー

5. (当日の成果) ナント、マー！素晴らしい！につきます。我らの姉妹都市タスカルーサ市のデュボン市長からメッセージが届き、荒木市長の挨拶の後、読み上げられました。

A. バンドは、リオプラボーやシェーンにあこがれた若き日を想い起こさせるものでした。

B. クッキー… (鉄の胃袋を持つといわれる) 私が、「処分せねば?」の心配をよそに、ピッタンコ。全部さばけたのです。若い会員の魅力に惑わされた愛すべきオジサンと、かわいい子供達のお陰で完売でした。私もせめて「試食をどうぞ」とお見せしましたが、レイバンとアロハの組み合わせでは、目線も合わせていただけませんでした。(炎天下にクッキーを持って会場を歩き募金集めをして下さった方々、前日、熱いオープンに手を入れて400ヶのクッキーを作り上げてくれた方に尊敬と感謝を捧げます。

C. 外国語研修…会場12席、立見10席、計25席は毎回満席でした。白板を背にした講師に向けられた受講生の真剣な眼差しと質問の数々は、元来語学研究者の私を感動させるには充分でした。少しでも講師の意思を伝えようと白板にカナの補記をしたり、わかりやすい質問で会場を盛り上げた世話役の存在も無視できない要素です。また、日頃大好きな日本でボランティア日本語講師のもと一生懸命に日本語を勉強している生徒達が講師となって、今初めて祖国の言葉を誇りと尊敬をもって市民の前で話すことのできた喜び、そしてそれが暖かくかつ尊敬をもって受け入れられた瞬間のシアワセそうな姿を眼のあたりにしたとき、私は抑え切れぬ感動を感じました。私たちN.I.A.の関係者は、受講した会員・市民とともに素晴らしい国際交流を実践し、そしてまた、短時間でも双方が喜びにみちた国際的精神共同体を作り上げることができたと感じました。講師の氏名は以下のとおりです。①タイ語 森田スマリン②インドネシア語 セルフィ・ティルタ

③英語 アマンダ・エイントン【豪州】④エド語 キングスレイ・オモレゲ【ナイジェリア】⑤ウドウ語 マクスド・アハマド【パキスタン】⑥ハングル語 黄 恩姫⑦スペイン語 アンジ・プラス・カラサンサ【ペルー】⑧ルーマニア語 ヨルガ・マセレ⑨中国語 張 曜海、程 丹松（講師のみなさん、本当に有難うございました。我々は皆さんの成功を祈っています。）

二 民族衣装の着用…アロハ、ムームー、インドやナイジェリアの装束のほかゆかたなど夏祭りにぴったりの国際性を感じさせる民族衣装は素晴らしいものでした。市民の方々にもお願いしたいと思いました。

後は、フランス王朝のドレス、トルコのハーレム？、アラブの王様やメキシコのポンチョ、カルメン…いろいろありますよねー。

ホ 会員募集活動…場所のせいか？熱さのせいか？我々のせいか？市民のせいか？今回はだめでした。でも大事なことです。是非皆さんのお知恵をお願いします。

ヘ ユニセフ募金…約2kg相当になりました。「あなたの10円が世界の子供を救う」N.I.A.会員の言葉（学習院大生）

6. 月着陸のアームストロム船長は言いました。「一人の足跡は小さい、しかし人類の足跡は大きい」。真似をして言いましょう。『会員一人の愛は小さい、しかしN.I.A.の創る愛の成果は大きい。』もっと良いスローガンをください。

7. 「習志野キラット」…大変なエネルギーでした。習志野にいる外国人もきっと驚いていると思います。この暑さのなかで、サンバの大行列、みんな一緒に拍手。最後に、今回の行事にご協力いただいた役員・会員の皆さんに、そして、事務局（笛吹局長、杉田局員）の日夜を分かたぬご指導に心からの尊敬と感謝を捧げます。【習志野に住んだ選択は正しかった！】



●日本語ボランティアの生徒さん達

## 星よりのメッセージ（七夕祭りに際して） 日本語ボランティア講師 栗原七郎

今年の七夕祭りは、日本語ボランティアの小池姫、池田姫、その他の人々のお招きで久々に習志野市に行く事が出来ました。又そこで多数の友人、知人又外国の方々にもお会い出来て楽しい思い出となりました。有りがとうございました。又色々なお願い事を頂き、私ども（彦星、織姫）はたいへん喜んでおります。ナイジェリアと日本との貿易拡大の願い、日本語上達の願い、ネパール旅行の願い等々。良く相談して来年の七夕までには必ず適えられる様努力致します。来年までお待ち下さい。来年と申しますのは私ども、宇宙の掟で同居することが出来ませんので、一年に一度しか会えないのです。でも七夕飾りを作りながら一人でも二人でも心の通じる友が出来たら素晴らしいですね。幼い時の七夕の思い出に再会し一時でも心安らぐ時間が持てたら素晴らしいですね。むかしむかし私どもが中国からやって来て以来日本の皆様から大変歓迎され日本文化の中に定着したと思ってまいりましたが、さいきん一寸違和感を感じております。海のかなたの文化に憧れる余り素晴らしい日本文化を少々粗末にしてはいませんか。西の国では人差し指を人に向けるのはご法度だそうです。もしそうすると日本においてすら厳しくなしなめられます。わけを問えばそうする事はピストルを連想させるからだそうです。英語のレッスンに行きますと、人様の奥様を、郁子、恵子、千恵子、智子と呼ぶ様に言われます。郁子さんに御主人の前で郁子と呼んで良いかと問うと勿論答えはNo.です。少々余談に成りましたが、西の国の文化は日本のみならず他の文化に合わないものもあるのです。外国文化を無批判に受け入れる事は止めましょう。日本文化は素晴らしいのです。素晴らしい文化に誇りを持って外国の方々に紹介して下さい。ただし押し付けは良くありません。N.I.A.の在住外国人交流部の方々が今外国人に日本語を教えてている様ですが、頑張ってください。語らいの豊富さ、わび寂を表現出来る言葉、感情、思いを良く表せる言葉等々。日本語は素晴らしい言葉なのです。この素晴らしい言葉を教える事に誇りと自信を持って頑張ってください。

N.I.A.会員の皆様、こまった時の一つの助けは、幸せな時の百の援助に匹敵します。外国の方々で色々なやみ、わからない事、希望等々お持ちの方がいます。出来るだけ相談にのってやってください。

私たちも星のねぐらに帰る時間が来たようです。来年も私どもをご招待ください。来年はもっと面白いおはなしを持ってまいります。最後に拙い俳句を一つ

たなばた  
七夕や 多国籍なり  
ねが  
願いごと

彦星、織姫

姉妹都市交流事業の一貫である、教職員の相互派遣は、今年度はタスカルーサ市から教員代表団が、習志野市を訪れました。

教職員交流は教育分野における国際化事業であり、教育事情の視察によって、両市の教育、文化を理解するものであります。受け入れは習志野市教育委員会が主体となって行いました。

N.I.A.は側面から、ホームステイの受け入れや、ボランティア通訳の支援を行いました。訪問者は全員がセントラル高校の教員で、次の方々です。

Jerome Jennings 先生  
33才 男性 世界史担当

Michael Daria 先生  
25才 男性 英語担当

Angela Shaw 先生

「ジョーダン」とすぐに呼ばれてしまうプロバスケット選手のような背の高いジェロームさん。ティナさんは名前が、愛らしい代数の先生。生物の先生でレトリバー犬を5匹も飼っているらっしゃる家庭的なアンジェラさん。英語の先生と聞きましたが、趣味は体を鍛える事ですと、ご自分の肩を自慢してみせたマイケルさん。皆さんの顔が、あいにくの梅雨の雨降りにもかかわらず、感動に輝いたことを今でも思い出します。

香澄小での朝のプール見学では、子供たちが、自主的に準備体操を始めて、「すごい」とうなってみたり、タスカルーサの子供達の家庭は、プールを持っている場合が多く、水泳指導は特に学校ではやらないが、自分が命を守るために、指導を受けているそうです。次の業間体育に案内された時には、ジェロームさんは、ダンスのリズムに、すでに、足は、床を踏み、腰で踊らんばかりに楽しそうにながめしていましたが、担当の

32才 女性 生物担当

Tina Griffin 先生

27才 女性 代数学担当

一行は、7月9日(金)に到着し、14日(水)に帰国しました。大変短い期間でしたが、香澄幼稚園、香澄小学校、第7中学校では授業参観や教員との活発な意見交換が行われました。また姉妹校の習志野高校では、茶道部や剣道部の練習風景に驚きの声をあげていましたが、吹奏楽部の歓迎演奏には涙を浮かべて感激していました。お別れ会では、「習志野市は第二の故郷である、暖かい歓迎に感謝するとともに今回の経験を、タスカルーサ市の教育に活かしていきたい」と、4人の方々から挨拶がありました。

この機会に、今回の教員代表団の訪問中ボランティア通訳として活躍した、山崎美知代さんから一行の印象等について感想を書いていただきました。



先生に、ダンスの輪に、どうぞとさそわれて顔をほころばせながら、さっと、小さな子供達の中。アンジェラさん、日向さんも続いて、たちまち、にぎやかに……次の授業へと、名残りおしそうに、手を振っていました。音楽の授業では、ハンドベル演奏で迎えられ、息をのむ感動と、汗をふきながら、目のあたりもおさえていた様に見えたアンジェラさん。ランチルームの様子も、タスカルーサのそれとは大変違いますので、皆様に通訳をするのと同時に、こちらも、おいしそうな給食を頂きたいと思い、忙しく、口を動かすことになりました。

さて、香澄幼稚園では、「ラッセ」

「ラッセ」と、これも又、ダンスの中に入って、本当に可愛らしい園児の皆さんと一緒にかけ声をかけて踊るというような事は一生に一度のチャンスだと、顔面汗だくで話したアンジェラさんでした。午後、先生方との懇談会では、見学した授業の感想を、お二人とも、子供達の高いレベルに感心し、先生方に尊敬の念を表したいと話されていました。又、将来、日本の小学校で、英語教育を導入しはじめる事について、香澄小の先生より、アメリカの場合は、どうですかと、質問がでました。タスカルーサでも、外国語は初等の段階で取り入れる学校もありますが、本格的には、高校で、一つにしほって、マスターしていく事が多いと、話されていました。

このような意見交換が、両市の教育の発展につながることを念願しています。

# Dream／《太平洋を超えた車いす》障害者に留学のチャンスを！！…杉田 洋子（N.I.A.事務局）

ネーサン・バラード氏は、脳性麻痺という重い障害を持ちながら、アラバマ大学の学生であり、その人生体験と、そこから生まれた思想について何冊かの著書を発表しました。彼は以前から日本文化に高い関心を持ち、寺院などの伝統的文化財を直接自分の目で見て、学びたい、又、日本の障害者と交流して意見交換をしながら、お互いの国の福祉についての知識・理解を深め、日米両国の障害者留学ネットワークを作つて行こう、という大きな夢を抱き続けていました。こうした彼の夢の実現のために、アラバマ大学のボランティアグループは、彼の日本訪問に対して、「Wheels Up」（車いすが世界に羽ばたく）をキヤッチフレーズとしてアメリカの世論にアピールし、大いに運動を盛り上げ、今回の来日となりました。資金は、チャリティ・コンサート、オリジナルTシャツの販売、洗車のアルバイト、街頭募金活動でまかなっています。日本での支援グループは、中部大学、千葉大学が中心となっていますが、彼はタスカルーサの住人ということから、姉妹都市である習志野市訪問を強く希望され、国際交流協会としては喜んで受け入れに協力し、習志野市の障害者の方々との交流が実現しました。

総合福祉センターでの交流では、アメリカ政府の障害者対策・資金面の援助はどうなっているのか、バス・電車等の公共交通機関の車いすのための設備状況、健常者の障害者に対する理解はどうか、今、障害者として政府に望むことは何か、等々活発な討論がなされた。緊張のためなかなか言葉が出ない人にも、そういう状態もよく分かるから、ゆっくり落ち着いて話してください、と配慮される時もあり、始終和やかな雰囲気の中で話が弾みました。出席者4人の内の1人が英語で自己紹介されたのには感嘆されました。自身も6カ国語が喋れるとか。

昼食後、幕張の障害者職業総合センターを訪れ、中途障害者のひたむきな姿、ひとつの事に打ち込む姿に感銘を受けた様子でした。又、障害者（上肢障害、下肢障害、全盲等の人）のため画期的に工夫された、同センターオリジナルのパソコンには、ただただ驚きであったようです。

長い時間の車いすでの移動でかなり疲労の色が濃くなつたので、時間を短縮させて頂いて、我が習志野市が誇る谷津干潟へ向かった。疲れが心配であったが、売店でお母様へのプレゼントを選べて大満足のようでした。鳥の観察では、自分の兄弟や従兄弟のような鳥がいると介助のダリル・ボナー氏とはしゃぎあうくつろいだ時間でした。

彼の一貫したポリシーは、障害者も健常者も同じように楽しめるのだ、世界を広げ、視野を広くすることができるのだという事です。しかもそれには自分が出来ない不可能な部分を十分認識し、協力・手助けには感謝することを忘

れない事が大切との事です。彼はまさにそのような人物であり、周りを気遣う心を持った、ユーモアに溢れる人です。習志野市に来られたことを誇りに思い、自分はアメリカの障害者の代表である事を自認する素晴らしい人です。のみならず前向きで、自分の仕事を持ちつつ社会と関わりながら、誇りと自信を持って生活している習志野市の障害者の方々の姿に感動されました。アメリカの障害者と競争するのではなく、又、国は何もしてくれないと嘆きながら日々を送るのではなく、自分の出来ることを精一杯やり、常に積極的に目を前に向けて行こう、というのが彼の障害者だけでなく、健常者へのメッセージです。

今回の企画に参加する中で、障害者の交流についてはホームステイや行動に対する支援体制等、多くの問題点がある事を経験しました。今後はますます拡大していく外国との交流計画に対処できる組織となるための努力が必要である事を痛感しました。又、今回のプロジェクトには、千葉県教職員研修の「社会貢献活動体験」として、松戸国際高校の倉内美登里教諭も参加しましたが、これだけの多くのボランティアの人々が活躍していることを実体験し、自分の知らない世界を見たようで、人生観が変るほど貴重な体験となったと感激していました。

ネーサン・バラード氏の習志野市訪問の実現は、社会福祉協議会ボランティアセンターの協力なしには不可能でした。運転ボランティアの石田さんが1日中、リフト付ワゴン車を運転してお付き合い下さいました事に感謝します。



●双眼鏡を操るネーザン氏



●習志野のリフト付きバスに樂々と乗り込む

6月29日、谷津コミュニティセンターにおいて、外国のレシピによるお菓子作りを行いました。



●Darlen イトウ先生の説明をよく聞いて  
クッキングスタート



●分量は大丈夫?



●こんな感じかな?

## アラバマクッキー

ジャーいっぱいの柔らかなクッキーをつくろう

準備20分・焼きこみ10分でクッキーが3ダースできる。

(単位 USカップ=240cc)

### 材料

オートミール	1・1/2カップ
(市販オートミール3パック)	
小麦粉	1・1/2カップ
砂糖	1/2カップ
ベーキングパウダー	小さじ1
ベーキングソーダー	小さじ1/4
塩	小さじ2/1
シナモン	小さじ1
卵	1ヶ
蜂蜜	良く溶いたもの
オイル	1/2カップ
ミルク	1/3カップ
レーズン	1/2カップ

### 作り方

- オーブンを175度に温めておく。
- 中サイズのボールで、オートミール、小麦粉、砂糖、ベーキングパウダー、ベーキングソーダー、塩、シナモンを混ぜる。
- レーズンを入れ混ぜ合わせる。
- 別のボール(大)で玉子、蜂蜜、オイルとミルクを混ぜる。2を加え、滑らかにこね合わせる。
- 天板にオーブンペーパーを敷き、クッキー種を落とす。スプーンで間隔をあけておき、指に水をちょっとつけ、上から押して直径3センチ位にする。
- 8分から10分間、上が黄金色になるまで焼く。
- オーブンから取り出し冷ます。

## テキサス(TEXAS) ブラウニー

ほど良い甘さのテキサス・ブラウニーをつくろう

準備15分 ベーキング時間20分  
オーブン温度180度  
(単位 USカップ=240cc)

### 材料

《ブラウニー》	
小麦粉	2カップ弱
砂糖	1カップ
バター	1/2箱 (100~120グラム) 又はマーガリン
ショートニング	1/2カップ
水	1カップ (又は強めのコーヒー)
ココア	1/4
バターミルク	1/2 (ミルク+レモン汁小さじ2でもよい)
卵	2ヶ
ベーキングソーダ	小さじ1
バニラエッセンス	小さじ1
《チョコレートフロスティング》	
バター、(マーガリン)	1/2箱
ココア	大きじ2
ミルク	1/4カップ
フロストシュガー又は砂糖1カップ半	
バニラエッセンス	小さじ1

### 作り方

- 大きいボウルで小麦粉と砂糖を混ぜる。
- バター、ショートニング、コーヒー(または水)とココアをいれ、混ぜながら強火にかける。
- 2.が沸騰したら1.に加え木べらでよく混ぜ合わせる。バター、ミルク、卵、ベーキングソーダー、バニラエッセンスを加える。
- 木べら又は泡立て器でよく混ぜる。
- バターを塗った天板に流し入れる。(オーブンペーパーでもよい)
- 180度で20分焼く。
- ブラウニーを焼いている間にフロストの準備をする。鍋にココア、ミルク、バターを入れ混ぜながら火にかけ、沸騰するまで熱する。
- フロストシュガーとバニラエッセンスを入れ、フロストが滑らかになるまで練り合わせる。
- 暖かいフロストをオーブンから出したてのブラウニーの上にかける。必ずブラウニーが熱いうちに。
- 冷蔵庫に入れて冷ましたら48(8×6切)等分にカットする。



●私でもできるよ!!



●完成!! オートミールクッキー



●完成!! テキサスブラウニー



●さてお味のほうは?

# 会員紹介/こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ハ/みなさん、どうぞよろしく!

山内 広美さん(東習志野在住)

山内さんが、習志野市に引越して来られて8年が過ぎました。N.I.A.の会員になられたのは7年前からです。当時子供さん二人はアメリカから帰国されたばかりで、日本語がまったくできない状態でした。小学校と幼稚園に入れなくてはならなかったので大変でした。その時に、たまたま知り合いになった方がN.I.A.の方で、そういうお子さんが習志野市に他にもいらっしゃると言う事を伺い入会したのが始まりだそうです。

習志野に来る前は八王子に住んでいたそうですが、そこで上の子(当時小学校1年生)は、まず日本語を話せるように都内目白の私立帰国子女専門学校に入りました。満員電車で、下の子供も連れて1ヶ月通いやっと念願叶って小学校に通い始めましたが、この子供達は、髪の色なども違うため、何をやっても目立つ存在で、苛め、差別等今でも語りきれないほど色々と苦労があったそうです。

これからも彼等の人生には色々な試練が待っているかと思い心配ですが、N.I.A.を通じてそういうことが少しでもかえられることが出来たら良いなと思っています。

その様なことから、この度スクウェアの編集部員になって会員の皆さんに、いろいろな記事を贈っていきたいと考えておられます。



●山内さんとご主人

こどもしつけ  
子供の躾

キングスレー・オモレゲ(東習志野在住)

日本に来て7年目になります。日本人の妻と2才になる息子と暮し、ここで2年がたちました。息子が大きくなるにつれ親子の会話が日本語でもしく、N.I.A.の日本語のレッスンを昨年から受けています。平和な日本で、息子が安心して成長することを楽しみにしています。一つ心配していることは「躾」です。ナイジェリアと大分違います。「子供を叩いて躾る」ということは、子供が自分の人生の自由を持っていないと言うことではありません。殆どの日本の親は、何時も自分の子供のすることに「可愛いね」を連発し、悪い事をしたときに決して叩いたり、厳しく叱ったりしません。魚が活きている間は、魚の体を曲げたり、好きな様にする事が出来ますが、魚の体が乾いたら、好きに動かすことが出来ず、壊れてしましますよね。日本の子供達が自殺したり、先生を刺したり、色々な問題があり心配です。手遅れになる前に人生の正しい道を教えることが親の務めです。子供達は親に強い信頼を置いています。親は子供達に正しい時に正しい道を教えなくてはなりません。私の父は15才までは厳しく叱りつけ、躾をしてくれました。私はナイジェリアの中で、エド語を話します。(共通語は英語です。)もし皆様の中にこの言葉に興味のある方は勉強して、アフリカ最強のナイジェリアに遊びに行って、交流を深めてください。



●私とコスモスと妻チアキ

**IEC 国際交流センター**

## 英会話スクール

当スクールでは、英語教師を米国、カナダから招請しています。  
先生方を貴方のご家庭や友人に紹介し、日常生活からの国際化にお役立て下さい。

京成津田沼駅クレストホテル前  
■ 451-0104

フィリピン ボラカイ島の写真集

撮影 木村 隆史

## 『WORLD ONE BORACAY』

北緯12度、東経122度に位置する、世界一美しいリゾート・アイランド。

WORLD  
ONE  
COSMO

発行・発売 ワールド ワン コスモ(有)  
習志野市津田沼5-14-201号  
TEL・FAX 047-453-6400

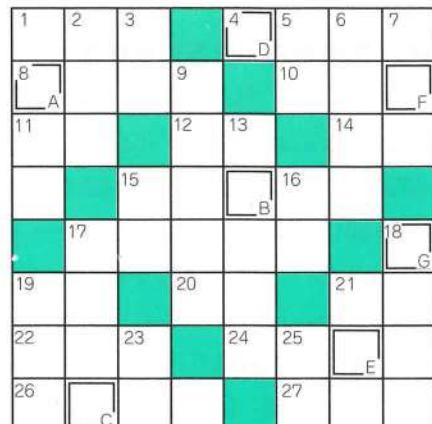
# Let'sチャレンジ／ザ・英文クロスワードパズルNo.47／プレゼント付！

## 〈ACROSS〉

- Frozen Water
- you need help, please let me know
- Within a short distance in space or time.
- Organ of hearing
- Chemical symbol for Cadmium
- About(abbrev.)
- Royal Academy
- Satisfying one's highest ideas.
- An adult(insect)
- London is situated —the Thames.
- Royal Institution
- et cetera
- Midday
- Give me — more water.
- Put one thing together with another.

## 〈DOWN〉

- Measure of length, one-twelfth of a foot
- Committee for Economic Development
- East Asia
- , his, him.
- Title of British Nobelman of High Rank
- National Rifle Association
- Radio Detecting And Ranging
- , began, begun.
- I am.
- Account of
- Translate the following Japanese — English.
- Sort, class, or variety.
- Office of Economics Stabilization
- Cash on delivery
- Centimeter
- Office Automation



〈出題者〉 御園生 馨 (N.I.A.会員)

## 〈応募要項〉

クロスを解いたあと、A～Gの文字をつなげてできたことばが正解です。

ハガキに解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。10月末日必着。

正解者の中から抽選で4名の方に、オーストラリア製コアラのミニ裁縫セットをプレゼントします。

宛先：〒275-0016 市内津田沼5-12-12  
サンロード4F 習志野市国際交流協会  
「N.I.A.スクウェア」編集部まで。

たくさんのご応募お待ちしています。

## Information

### 姉妹都市ニュース

1999年タスカルーサ「桜まつり／絵画・俳句コンテスト」の入選作品が決定し、作者には各々賞状が贈られました。

#### 絵画コンテスト 入賞者

- 1位 習志野高校（3年）立川美樹さん
- 2位 習志野高校（3年）豊里真貴さん
- 3位 習志野高校（3年）伊藤有希子さん

#### 俳句コンテスト 入賞者

- 入賞 鷺沼小学校（3年）坪谷夏美さん  
「さくらの木 だいじにしてよ みんなの木」  
入賞 鷺沼小学校（6年）廣瀬知生さん  
「桜の木 見えないきずな 深めるよ」

シスター・シティ、インターナショナル1999ヤング、アーティスト、コンテスト（全米）では、60名の応募作品の中から習志野高校（3年）石川佳孝さんの作品が入賞いたしました。

## Editor's Message

- このスクウェアは、多くの国での異文化体験を通じ相互の理解をより深め、異なる文化の人々とのやりとりの一助に成ることを願いつつ編集したい。（Y・館川）
- N.I.A.スクウェアは私にとって中学、高校、大学、社会人と人生の様々な場面に何らかの影響を与えた新聞です。みなさんにとっても人生の1ページとなるような紙面作りを心がけていきたいと思います。どうぞ宜しく御願い致します。（N・井吉）
- 世界を舞台に活躍している日本人が増えています。Boys, be ambitious!若い時代に大志を抱けば、夢は必ず実現します。（T・木村）
- 異常なまでの暑さを楽しんだ今年の夏も、あと僅か。もうすぐ読書の秋、さあ今度は冴えた頭でクロスに挑戦しよう。今後とも宜しく。（K・御園生）
- 世界の人情、例えばインドネシア人、メキシコ人、米国人、仏大統領とスタッフ、外国で触れた日本人の人情など、折に触れ紹介出来ればと考えています。（H・本田）
- 世界では大変な事がたくさん起きている時にちょっと恥ずかしい朝のテレビ番組…近所の主婦の喧嘩如きでテレビ放送しないでほしいですね。日本のテレビ放送業界のレベルの低さ…考えてほしい～！
- 長島機長のご冥福を心よりお祈り致します。（H・山内）
- 暑い日は、涼風にあたり、ハンモックでお昼寝、目をとじ、何も考えずバルコニー時間をお過ごしたい。一日一日を大切に。（K・沼澤）

## 前回の解答

### 〈解答〉 ANNIVERSARY

C	A	L	E	N	D	A	R
A		C	A	C	G		E
R	M		S	O		B	M
D	U	T	Y		S	E	E
I	S	O		B	E	A	M
G	E		V	I		N	B
A		E	A	R	N		E
N	E	X	T	D	O	O	R

応募総数 14人  
その中、正解者14人

### ◆募集中

習志野中央ライオンズクラブでは、マレーシア派遣青少年を募集中です。

10月30日まで

問い合わせ TEL 477-8778

## N.I.A.スクウェア・第47号

発行1999年9月1日/発行責任者・林 安次

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・館川 谷

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード4F

TEL/FAX 047-452-2650